

## 臨床研究の実施に関する情報公開

金沢医科大学病院では、研究倫理審査委員会の承認を得て、研究機関の長の許可のもとに下記の臨床研究を実施しています。

患者さんが、この研究のために患者さん本人の情報等を使用・提供されることにご了承いただけない場合は、問合せ先までご連絡ください。情報の使用等についてお断りになられても、患者さんに不利益となることはありません。

研究課題名	能登半島地震による被災生活が及ぼした乳がん患者の治療への影響と生活の現状
研究機関名	金沢医科大学病院
研究機関の長	病院長：川原 範夫
研究責任者	金沢医科大学病院 久野 真知子
研究参加拒否 申込受付期間	2024年8月10日 までにお知らせください。 上記の日付以降は、匿名化の処理を行い個人の判別が出来なくなるため研究対象からの除外は出来なくなりますので、研究参加の拒否をされる場合は期日までにお願いいたします。
研究期間	研究実施許可日 ~ 2025 年 3 月 31 日
対象者	2024年1月～4月までの間に、能登半島地震で被災された当院乳腺外科（乳腺内分泌外科）に外来通院する乳がん患者
当該研究の意義・目的	今回の研究は、乳がん患者に特化し、震災時に必要な被災生活上の工夫と治療再開・継続への支援、全がん患者に対して作成されている事前の患者教育に加え、乳がん患者に追加し必要な教育内容やタイミング、方法を考察し、震災の多い我が国において、他地域で震災が発生した際の具体的な乳がん患者への支援を明らかにすることです。
方法および研究で 利用する試料・情報 の取得方法	2024年1月～4月の期間において、外来予約のあった患者診療録、看護記録より以下を抽出します 1．対象者の属性（乳がん進行度・性別・年齢・治療内容等） 2．被災状況（療養場所・ライフライン・通院手段等） 3．乳がん治療への影響の有無と影響内容（再診予約日の遅延・治療の休薬・治療開始の延期・病状の変化等） 4．患者からの言葉（被災生活で困っていること、困り事への工夫、治療に対する思い等） 研究対象者の個人を特定できない形で分析します。データを保管する際はパスワードをかけUSBメモリに保存し、鍵のかかる部屋で厳重に保管し、得られた研究データは、学内規程で定められた研究発表後10年間保管され、その後適切な方法にて速やかに破棄します。
利用又は提供する 外部への試料・情報 の提供	外部への提供はありません。
個人情報の開示に 係る手続き	個人情報の開示に係る手続きは、下記の問合せ先にご相談ください。
利益相反について	この研究の計画・実施・報告においては、金沢医科大学利益相反マネジメント規程に則って、適正に行われます。また、この臨床研究にご参加いただくことであなたの権利・利益を損ねることはありません。
資料の閲覧及び研究 対象者等の求め に応じて、研究対	あなたからのご要望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、この研究の計画や方法についての関連資料をご覧いただくことができますのでお申し出下さい。この研究で得られる結果を実際の治療に結びつけるには、今後さら

象者が識別される 試料・情報の利用 又は他の研究機関 への提供を停止す る旨について	に研究を進める必要があります、今すぐ、個人の病気の治療などに役立つものではありません。以上のことから、今回の研究では、ご本人に関する解析結果をお知らせする事は想定していません。
問合せ先	その他、この研究に関するお問合わせは、下記へご連絡ください。 金沢医科大学病院 看護部 久野真知子 住所：石川県河北郡内灘町大学1-1 ☎：（代表）076-286-3511 内線（25236）

作成日： 2024年7月22日